

研究概要

植物工場を活用した機能性野菜・ハーブの生産技術の開発

近年の高齢社会を背景に、健全な食生活により疾病予防をはかり、健康寿命を延伸することが望まれている。これを受けて、健康機能性の高い野菜の市場ニーズが高まっている。植物工場は栽培環境を高度に制御できるので、野菜類の機能性成分を向上させることが可能であり、かつ、周年で安定的に生産できる。

疾病予防効果や美容効果の期待される成分(=機能性成分)を含む野菜を選定する。着目する機能性成分をより向上させる最適な栽培技術を開発する。



植物工場向け栽培システム

今後の展開やメッセージ

本分野は、農水省、厚労省、経産省など府庁横断的に技術開発が推進されている。

研究者情報



松本 恵子 講師

学部：バイオ・化学部 学科：応用バイオ学科
所属研究所：ゲノム生物工学研究所
博士（農学）。イシグロ農材（株）イシグロ農業研究所を経て、平成26年本学講師就任。

Keyword

植物工場 / アグロメディカルフーズ / 機能性野菜 / 農業ICT